

兵庫県感染症発生動向調査週報

平成20年第2週(1月7日~1月13日)

平成20年1月17日 兵庫県感染症情報センター - 発行

この週報は感染症法及びその関連法規に基づく感染症発生動向調査の県内状況を速報するものです。患者数は確定した値ではありませんのでご了承ください。感染症発生動向調査は全数把握対象疾病にあっては県(国)内の全医療機関、定点把握対象疾病にあっては指定の医療機関(定点)からの保健所(健康福祉事務所)への報告に基づいています。

2008年1月1日から麻疹と風しんが、それぞれ全数把握疾患に変更されました。

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html> (2012年麻疹排除に向けて)

厚生労働省から「今冬のインフルエンザ総合対策について」が発表されています。

標語 <ひろげるなインフルエンザ ひろげよう咳エチケット>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/index.html> (厚生労働省)

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/infreport/report.html> (インフルエンザ様疾患発生報告)

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/index.html> (流行レベルマップ)

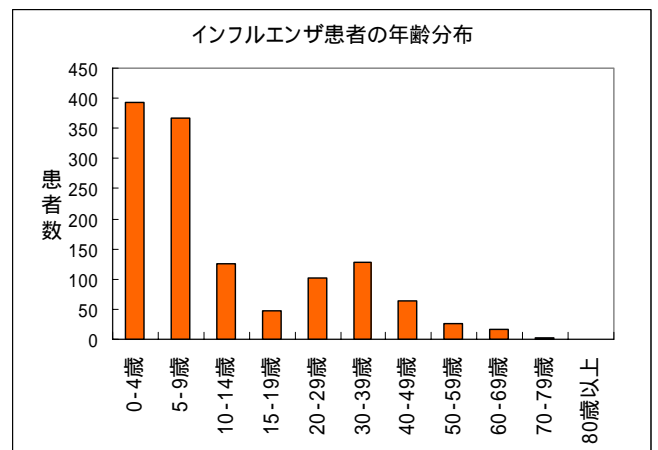
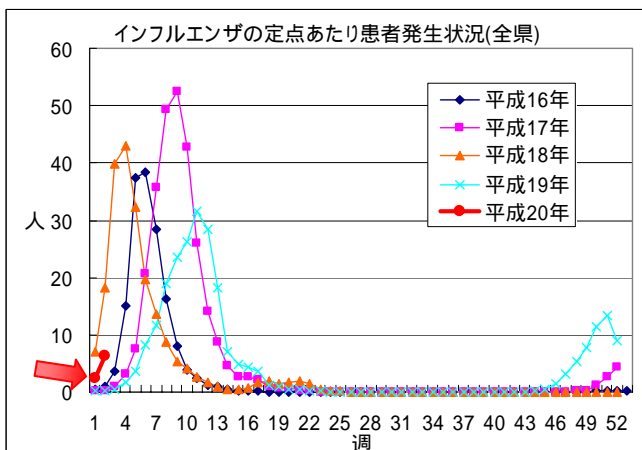
インフルエンザ情報 流行地域が拡大しました。



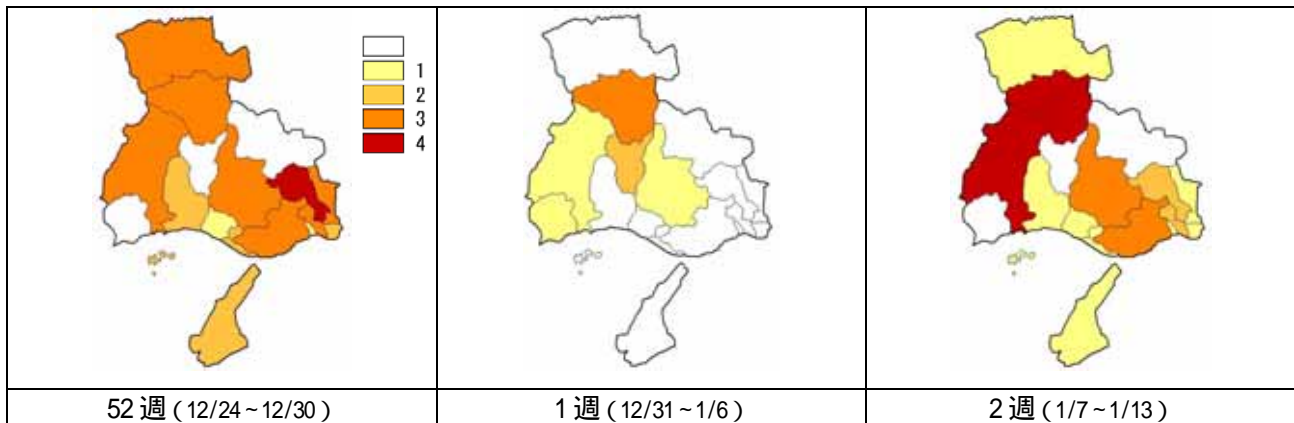
全国のインフルエンザの定点あたり患者数は今週増加し、6.42人(先週3.14人)となりました。青森県、大阪府、岡山県が警報レベル、その他11道府県が注意報レベルとなっています(第1週現在)。現在までのところ、全国で分離されているインフルエンザウイルスの約9割がAH1亜型(Aソ連型)となっています。

今週県内の定点からは患者数1,271人(先週508人)、定点あたり患者数6.39人(同2.55人)の報告がありました。流行地域が拡大しており、全ての保健所管内で**流行開始の目安となる定点あたり患者数1.0人を超えています**。今後、各保健所管内でさらに患者数が増加することが予想され、注意が必要です。患者の年齢分布をみると15歳未満の小児に多い傾向です。小児では中耳炎や急性脳症の合併の危険もあるので、罹患が疑われる際は、速やかな医療機関受診が大切です。

インフルエンザ予防には、帰宅時の手洗い・うがい、適度な湿度の保持、十分な睡眠やバランスのとれた食事、混雑する場所への外出は控える、外出時のマスク着用などが大切です。



感染性胃腸炎 年が明けて再び患者数が多くなりました。



感染性胃腸炎の定点あたり患者数は今週大きく増加しました。感染性胃腸炎の主要な病原体とされているのがノロウイルスで、感染力が非常に強く、高齢者の施設や学校、病院などでヒト - ヒト間の感染によると思われる集団感染や院内感染が例年報告されています。予防の基本は手洗いの励行で、患者の吐物や便を処理する場合は使い捨て手袋とマスクを着用するなど注意が必要です。

厚生労働省のホームページにて「**ノロウイルスに関するQ & A**」が掲載されています。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/040204-1.pdf> (厚生労働省)

その他の定点把握感染症等の概況

今週は冬期休暇明けで、多くの感染症で定点あたり患者数が増加しました。**水痘**の定点あたり患者数は今週増加しました。冬から春にかけて流行する感染症で、今後も多い状態が継続すると予想されます。**RSウイルス感染症**も冬季に流行をみせる感染症で今週増加しました。現在のところ、どの感染症も例年並の推移をみせています。

定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

| | 疾病名 | 定点あたり患者数 | 先週 | 先週からの増減 | | 疾病名 | 定点あたり患者数 | 先週 | 先週からの増減 |
|----|------------|----------|------|---------|-----|---------|----------|------|---------|
| 1位 | 感染性胃腸炎 | 10.77 | 4.05 | +6.72 | 6位 | 流行性角結膜炎 | 0.68 | 0.37 | +0.31 |
| 2位 | インフルエンザ | 6.39 | 2.55 | +3.84 | 7位 | 突発性発しん | 0.57 | 0.15 | +0.42 |
| 3位 | 水痘 | 2.33 | 1.27 | +1.06 | 8位 | 流行性耳下腺炎 | 0.53 | 0.13 | +0.40 |
| 4位 | A群溶血性球菌咽頭炎 | 1.08 | 0.29 | +0.79 | 9位 | 咽頭結膜熱 | 0.26 | 0.06 | +0.20 |
| 5位 | RSウイルス感染症 | 0.95 | 0.65 | +0.30 | 10位 | 伝染性紅斑 | 0.15 | 0.03 | +0.12 |

全数把握感染症

1 類感染症：報告はありません。

2 類感染症：**結核 9名**（尼崎市4名、姫路市1名、伊丹健康福祉事務所管内1名、宝塚健康福祉事務所管内1名、社健康福祉事務所管内1名、豊岡健康福祉事務所管内1名）

3 類感染症：報告はありません。

4 類感染症：**レジオネラ症 2名**（神戸市1名、宝塚健康福祉事務所管内1名）

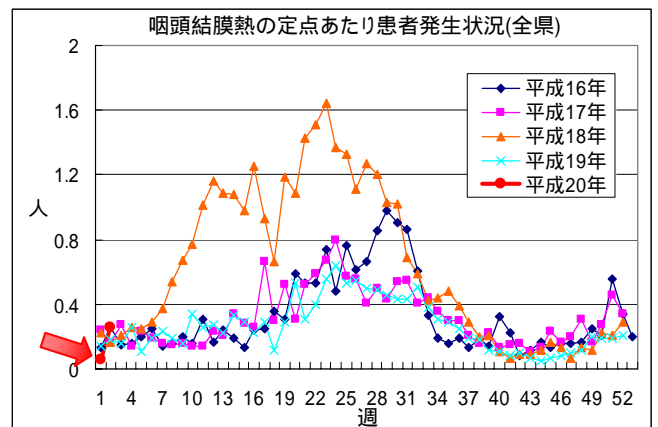
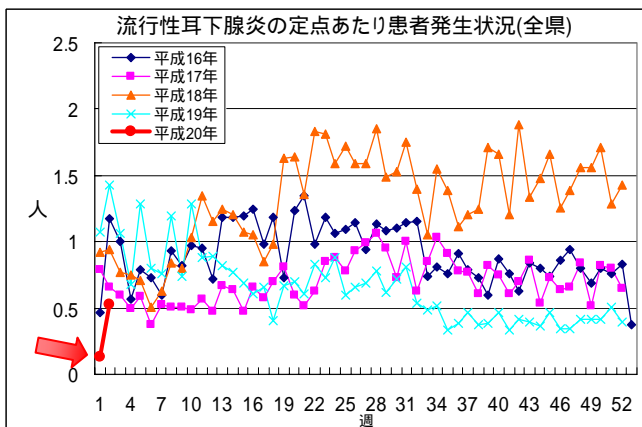
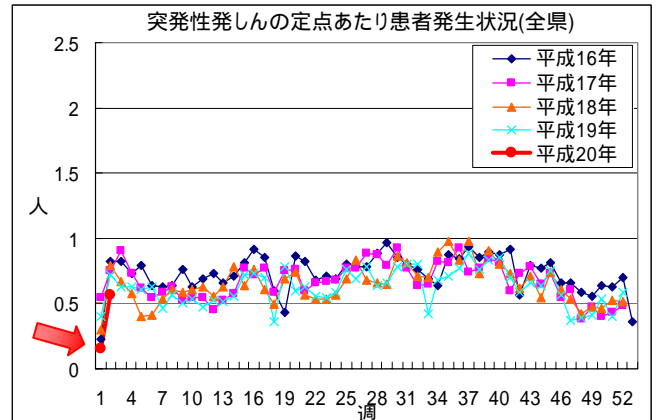
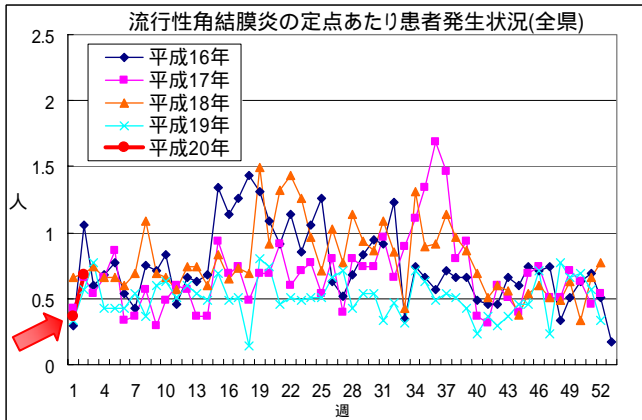
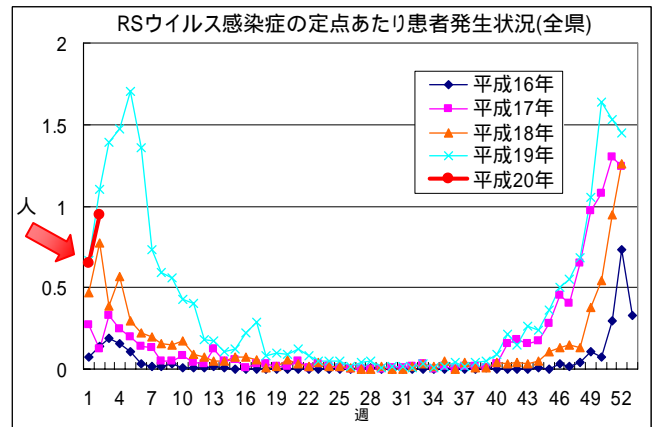
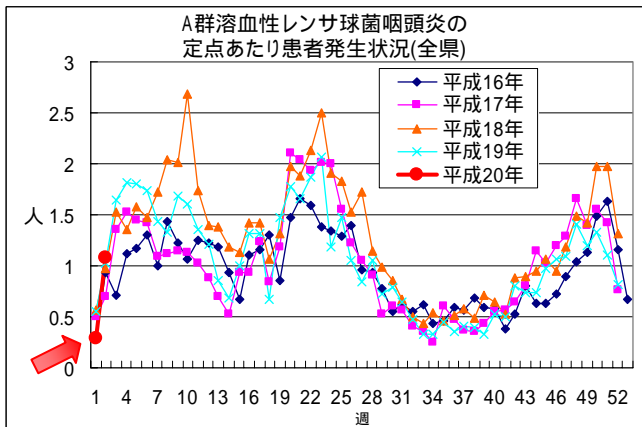
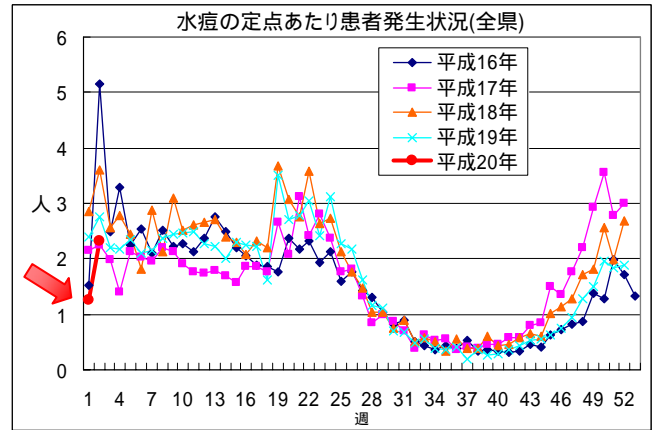
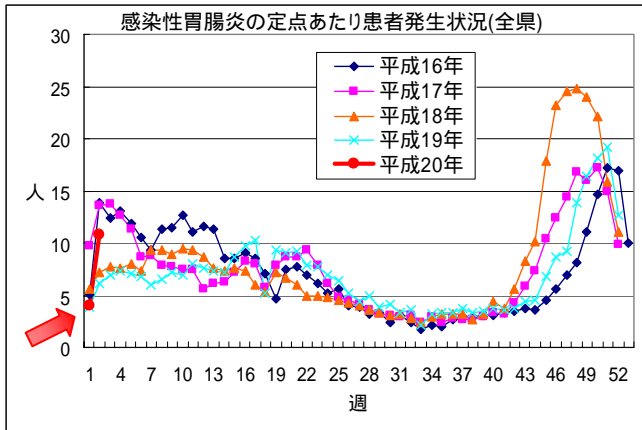
5 類感染症：**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名**（神戸市1名）

麻疹 5名（神戸市・14歳2名,17歳,31歳,48歳・ともにワクチン接種歴無・うち3名は家族内感染）

追加報告：**結核 3名**（加古川健康福祉事務所管内1名；第24週、社健康福祉事務所管内2名；第50週、第52週）

レジオネラ症 1名（尼崎市；第52週）

目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDMR)がダウンロードできます。